

## 次期計画の策定について

### 1 過去の計画の策定状況等

名 称 (計画期間)	策定期期 (検討期間)	検討・諮問機関 (委員数×会議数)	対 象 業 種	重 点 課 題
産業振興戦略プラン (H19.4～H24.3)	H19年3月 (5月)	産業振興懇談会 (12名×6回)	製造業	メイドイン長野を世界へ ・マーケティング支援、 産学官連携等の強化
ものづくり産業振興戦略プラン (H24.4～H30.3)	H24年3月 (10月)	中小企業振興審議会 次期計画起草部会委員 (5名×3回)	製造業	次世代産業の創出 ・成長3分野、アジア市場 等への展開の強化
ものづくり産業振興戦略プラン 【2018-2022】 (H30.4～R5.3)	H30年3月 (1年10月)	中小企業振興審議会 部会委員+専門委員 (6名×6回)	製造業	産業イノベーションの創出 ・生産性の向上、高付加価値化 への転換
産業振興プラン(仮称) (R5.4～R10.3)	R5年3月	中小企業振興審議会 部会委員+専門委員 (7名×4回)	製造業 + α	

### 2 産業振興プラン(仮称)の概要(案)

**計画期間** 現行のプランの計画期間が H30.4～R5.3 であるため、次期計画は R5.4～R10.3 の計画期間として、策定作業を進める。

**対象業種** 製造業にとどまらず、付加価値が高く、将来にわたり成長が見込める産業の振興・創出を目指す。

**構 成** 情勢の変化に応じて内容を更新できる仕組みとし、常に「使える」計画とする。重要なエッセンスのみで構成し分かりやすい構成とする。

#### 方 向 性

- ・ものづくりにとらわれず、稼げる産業、革新力に富んだ産業の創出・育成にむけた内容
- ・現行プランの方向性（産業イノベーションの創出）は維持
- ・自然災害やコロナ禍で浮き彫りとなった様々なリスクを踏まえ、県内産業の持続的な成長基盤の構築を目指して、DXやゼロカーボン、エシカル、SDGs、人材育成、産学官連携といった要素を追加・強調する方向で検討

## 3 スケジュール案

日付		審議会	県	
R3	12月	書面での意見照会	次期計画検討部会、新財団についての意見照会	
	1月 24日	第1回 次期計画検討部会	各種統計等を基に意見交換	
	2月 9日	令和3年度第2回 中小企業振興審議会	各種統計等を基に意見交換 令和4年度予算案説明	
	3月			
R4	4月			
	5月	第2回 次期計画検討部会	(外部講師講演) 計画骨子の検討	
	6月			
	7月	令和4年度第1回 中小企業振興審議会	次期計画検討部会の報告等	
	8月	第3回 次期計画検討部会	支援策・目標値の検討	
	9月			
	10月	第4回 次期計画検討部会	部会案決定	
	11月	令和4年度第2回 中小企業振興審議会	最終報告	
	12月 ～ 3月			パブコメ・ 部局長会議等
R5	4月			開始

骨子案  
検討各施策  
中間  
評価支援策案  
目標値案  
検討計画素案  
検討